科目名称	微生物学	学年学期	単位数	時間数
		第 1 学年　前期	1	30
担当教員	大瀬戸　光明	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 衛生検査技師 ） □ 無	

【1】 授業概要

病原微生物（ウイルス、細菌、真菌、原虫）の性状・特徴と、それらが引き起こす種々の感染症に関する基本的な知識を学習する。

【2】 学習目標

1. 感染経路、生体の感染防御機構、化学療法、滅菌と消毒について説明することができる。
2. 看護・医療従事者として感染症の治療や院内感染対策について説明することができる。

【3】 第 1 看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
■ 3. 地域の特性を看護に生かす力
□ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■ 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	種々の病原微生物、微生物学の歴史を学ぶ。	講義
2	細菌の性質、構造、増殖、遺伝について学ぶ。	講義
3	ウイルスの性質・増殖、真菌の性質、原虫の性質について学ぶ。	講義
4	感染と発症、感染経路、病原性と宿主の抵抗力について学ぶ。	講義
5	免疫応答、液性免疫、細胞性免疫について学ぶ。	講義
6	滅菌法、消毒剤、院内感染対策、主な化学療法、薬剤耐性菌について学ぶ。	講義
7	感染症対策、感染症法、予防接種、細菌の検査法、ウイルスの検査法、PCR 法について学ぶ。	講義
8	グラム陽性菌について学ぶ。	講義
9	グラム陰性菌、クラミジア、リケッチアについて学ぶ。	講義
10	DNA ウイルスについて学ぶ。	講義
11	RNA ウイルスについて学ぶ。	講義
12	真菌、原虫について学ぶ。	講義
13	腸管出血性大腸菌感染症、結核、食中毒、MRSA について学ぶ。	講義
14	ウイルス性肝炎、後天性免疫不全症候群（AIDS）、インフルエンザについて学ぶ。	講義
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

科目評価は、試験、小テスト、受講への取り組みにより総合的に評価する。

【6】 教科書

南嶋　洋一：系統看護学講座　専門基礎分野　疾病のなりたちと回復の促進 4　微生物学（第 13 版）　医学書院　2022（電子版）

【7】 参考書

小田紘著「ビジュアル微生物学」 ヌーヴェルヒロカワ　2019 年

【8】 受講生へのメッセージ

微生物の知識は、看護師として必要な知識です。しっかり学んでいきましょう。